

観点 1	基礎・基本の定着
観点 2	主体的に学習に取り組む工夫
観点 3	内容の構成・配列・分量
観点 4	内容の表現・表記
観点 5	言語活動の充実

第 1 推薦	116 日本文教出版
第 2 推薦	9 開隆堂

小学校 図画工作 各教科書の主たる特徴及び意見

発行者名	主たる 観点	主 たる 特 徴
9 開隆堂	観点 1	○ 各題材の目標である「育てた力」を、3種類のマーク（「試したり、見つけたり、考えたりして思いつく力」、「形や色、方法や材料をくふうする力」、「心を開いてたのしく活動し、友だちとかかわり、協力し合う力」）と文章で示している。 ○ 単元の最後に4観点（造形への関心意欲態度、発想や構想の能力、創造的な技能、鑑賞の能力）に対応した「ふりかえり」を設定し、自己評価ができるようにしている。
	観点 2	○ すべての学年において図画工作で育てたい力などを「めあてに関するマーク」や「学習活動（材料や用具の使い方、ふりかえり）に関するマーク」で表している。
	観点 3	○ 題材を5つの項目に分類して配列し、1つで複数の項目を示している題材もある。題材は、活動の要素、使用材料などを考えて組織し、6年間を通して系統的・体系的に造形活動ができるように配列されている。
	観点 4	○ すべての学年において1つの題材を見開き1ページ又は2ページに、一部3ページに記載している。作品の解説として題名や作者の考え・感想、大きさ・使用材料・画材等を示している。
	観点 5	○ ページの最下部にあるふりかえりに、活動を振り返って話し合う視点が示されている。言語活動につながる鑑賞の目標や鑑賞の具体的な方法、鑑賞の視点や児童の言葉を示している。
116 日文	観点 1	○ 各題材の目標を、5種類の色分け（造形遊びをする活動、絵に表す活動、立体に表す活動、工作に表す活動、かん賞する活動）と文章で示している。 ○ 各題材の巻頭に「学習のめあて」を提示し、「大切にするとところ」をアンダーラインで明確に示し、「ふりかえり」のための工夫をしている。
	観点 2	○ 学習活動に関するポイント（「形や色のチーロさん」「きをつけよう」「かたづけ」「学習の後で」など）をマークと単文で表し、授業で使うおもな用具もマークで表している。
	観点 3	○ 学習指導要領に示された領域の活動内容を色で示し、ねらいが明確である。各学年とも題材を5つの項目に分類して配列し、全ての題材において、1つの題材で1つの項目を示している。

	観点4	○ すべての学年において1つの題材を見開き2ページに記載している。作品の解説として題名や作者の考え・感想, 大きさ・使用材料・画材等を示している。
	観点5	○ 言語活動につながる学習のめあてが4つ示されて大切にしているところをアンダーラインで足している。